

# 中盤に一気 花北青雲快勝 岩手 打線に元気なく

◇花巻球場▽2回戦

花北青雲	000140000	5
岩手	000000000	0

(花) 晴山—伊藤  
 (岩) 畠山、立花—槻木沢、坂本  
 ▽三塁打 久保田 (花)  
 ▽二塁打 晴山 (花)

【評】花北青雲は投打がかみ合い、岩手を下して初戦を突破した。四回、相手投手のボークで先制すると、五回は大矢、久保田主将、伊藤の連続適時打で4点を追加した。

先発晴山は被安打1で完封。岩手は主戦畠山が要所を締めていたが、ボークを機にリズムを崩した。2番手立花が無失点と好投したが、打線が援護できなかった。

▼168センチの右腕が好投 168センチの小柄な体から直球をどんどん投げ込んだ。花北青雲の晴山光（2年）は三塁を踏ませない好投で勝利を呼び込んだ。

全身を目いっぱい使ったフォームで、球を受けるミットの音からキレの良さを感じさせる。「走るのは好きじゃな

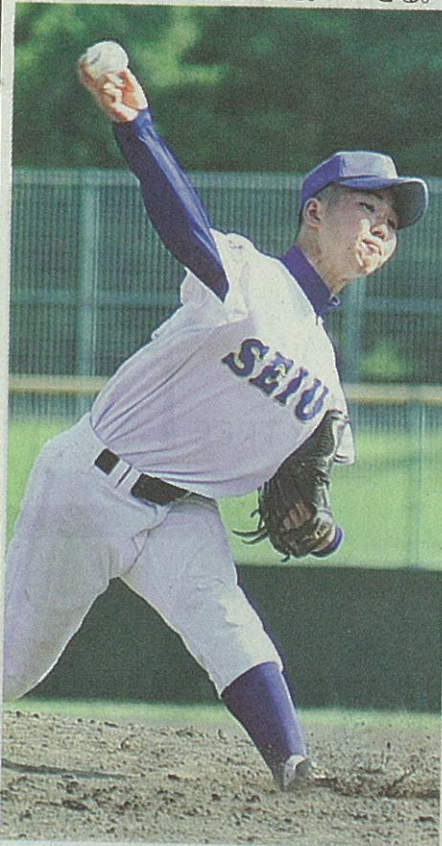
くて中学時代は走らなかった」と苦笑いする晴山は、球速アップへ下半身を強化。食べる量を増やしても体重が約10キロ減るほど、冬場に徹底的に走り込んだ。

効果は数字に表れ、昨春の最速124キロから138キロと格段に威力が増した。「チームのために勝てる投手が理想」と前置きし「目標はプロ野球の由規投手（ヤクルト）のような速球を投げること」と屈託のない笑顔で語った。

岩手・畠山洋輝投手 ボークで動揺してしま

った。いつもは変化球主体だが、

納得のいく真っすぐを投げられた。自分たちの代から礼儀正しい生活を徹底し、徐々に雰囲気も変わったと思う。後輩たちに期待している。



花北青雲—岩手 1安打に抑え完封した花北青雲の晴山光—花巻